



原発きようと」のメモリアル集会が開催。今中哲二さん（京大複合原子力科学研）が福島原発の放射能汚染と福島原発の後始末、およびウクライナ問題について講演され、4本の報告スピーチが続きました。最初の報告は中島哲演さん（小浜市明通寺住職）の予定でしたが、体調不良のため若狭町の石地優（いしじ・まさる）さんがピンチヒッターとなり、若狭の原発を巡る「共創会議」などの状況を報告。その他、宗川吉洋（そうかわ・よしひろ）さんから福島で多発している甲状腺がんの問題、

3月13日、「2022年さよなら原発 関西アクション」集会に参加しました。コロナでデモは中止、また、コロナ禍大阪に来ていただくのはということで、福島の菅野哲さんも見合せ。まず福井から。宮下正一さんが関西電力と関西電力旧役員の不正を告発する会ができた経過と不起訴後の経過報告をしました。

原発を止めよう！ 核燃サイクルを中止させよう！

萩原ゆきみさんから原発賠償京都訴訟への支援要請、田中暁（さとる）さんから脱炭と脱原発で気候危機打開の訴えがありました。1200人が参加。コロナ禍でデモは中止になりました。呼びかけ人の構成団体の中には、組織的な原則（動員的な感じ）でメンバーに参加要請を行うところもあり、そういう事情（動員をかける側の責任）からと推察さ

れるデモ中止の意見に、僕はデモ中止に賛成しました。当日「バイバイ原発きょうと」の集会后に「ロシアのウクライナ侵略を許すな！京都抗議デモ」が企画されました（戦争をさせない京都1000人委員会）。こちらに参加してきました。午前中の配付資料セット作業から、チラシ配布ほか、長い一日でした。（京都脱原発原告団 吉田めいせい）

次に神田香織さんの講演。聞いていて胸が痛くなる熱演でした。「ローマ教皇との運命の出会い」と題する原発事故で福島から東京へ避難した少年の物語です。この話は新聞にも報道されたのでご存知の方も多いでしょう。いじめがあつたとは聞いていましたが、神田さんの講演を聞くまで、ここまで酷いとは。原発はひとたび事故を起こせば、



この日も「さよなら原発関西アクション」でデモが中止されたので、10人で、中之島から御堂筋を北上してのヒトリデモ。

命や暮らしを根こそぎ奪うだけでなく、辛い生き残った人をも差別で苦しめるものなのです。続いて、関東からの避難者、下澤陽子さんが発言。立憲民主党の山崎誠さんが「核燃ゼロ・核燃中止を実現するために」と題する講演。まずロシア軍がウクライナの原発を攻撃している現実には、戦争になれば原発が狙われる。3月9日に経済産業委員会です質問したら「原発は武力攻撃を想定していない」「原発がなくても核ミサイルが飛んで来たら同じでしょう」と驚きの回答があつたそうです。カーボンニュートラルを口実に原発がまた推進されよう

としていたりことや革新的原子力と称して小型モジュール炉、高速炉などが推進されようとしていること、核燃サイクルの動向などが説明されました。あきれる話ばかりでした。その後、元裁判官の樋口英明さんが会場から発言しました。「多くの人は原発をエネルギーと考えているでしょう。しかし原発の本質は国防問題です。54基の原発が無防備に海岸沿いに建てられています。テロは原発を標的にしないという信頼があるので、うか？原発は自国に向けられた核兵器です」と指摘し大きな拍手がありました。原発廃炉を勝ち取ろう。（長澤民衣）